



かつやま

6 No.655 月号



「原始人だよ」

5月19日、三室小学校で恒例の原始運動会が行われました。今年は初めて、平泉寺小学校の児童と合同で開催。子どもたちは自作の衣装を着て、「原始人の一生」など、とてもユニークな競技をみんなで楽しみました。ちなみに賞状は大きな葉っぱでした！
原始人の女の子をパチリ！

CONTENTS 

花いっぱい運動
教育委員会だより
第5次総合計画進捗状況
出合いふれあい

(三室小学校) 平成21年6月11日発行

歴史の散歩道

(102)

愚問「賢聖院」の読み方 なぜゲンジヨウインか

平泉寺の歴史についてあれこれ書いてきたが、恥ずかしながら「賢聖院」の読み方について、腑に落ちないことがあった。それは、「勝山市史第二巻」の164ページと180ページで、賢聖院を「けんじょういん」と仮名を振っていることである。

さて、「賢聖」の読み方を、国語辞典の「大言海」「大辞林」と仏教学の「仏教学辞典」で調べてみることにした。

大槻文彦著「大言海」(昭和三年)は、けんせい(名)「賢聖」賢人ト、聖人ト。知徳ノ、卓絶セル人。孟子、公孫丑、上篇「(中略)」、盛衰記、廿五、此君賢聖事「(中略)」

けんじやう(名)賢聖「せんせい」ノ吳音(一)賢人ト、聖人ト。「賢聖障子」(二)仏家ニ、三世、十方ノ諸菩薩、諸大羅漢ノ泛称。聖。沙石集「(中略)」(三)転シテ、高僧ノ称。聖。法師ノ凡僧ノ称トナレルガ如シ。賢聖衆ナド云ヒ、略シテ賢衆ト云フ。栄花物語「(中略)」、鶴林「(中略)」三省堂発行「大辞林」(初版 一九八八)では、

けんせい 【賢聖】 ①賢人と聖人。また、知恵と徳を兼ねそなえた人。聖賢。けんじょう。②《仏》「賢聖(けんじょう)①」に同じ。
③《酒》酒(賢)と清酒(聖)。
けんじょう 【賢聖】 ①《仏》「けんじょう」に同じ。

「う」とも)ア、悪を去ったが凡夫にとどまっている者(賢)と、真理をさった者(聖)。けんせい。↓見道(けんどう)イ、仏道修行を積んだ高徳の僧。
②「賢聖(けんせい)①」に同じ。

多屋頼俊ら三名編集「仏教学辞典」(初版 一九九五、法蔵館発行)では、次のとおりである。

けんじょう 賢聖 賢と聖。仏道を修行する人の中で、見道以上に達した人を聖といひ、いまだ見道には至らないがすでに悪を離れた人を賢という。俱舍論では(後略)。

賢聖をケンシヨウとする辞書は見あたらない。仏教語は漢音でなく吳音で発音するから、ゲンジヨウと読む。だから、賢聖院はゲンジヨウインと仮名を振るのが正しい。また邪推だが、賢聖に「にぎり酒と清酒」の意味があるとするとき、賢聖院は白山神などに供える酒を造ることをしていたのであろうか。

文化財保護委員 佐野光臣



旧 玄 成 院

人口の動き

	4月末現在	自然動態		社会動態		5月末現在	月間増減
		出生	死亡	転入	転出		
男	12,764人	10	19	7	21	12,741人	-23人
女	13,966人	4	10	19	26	13,953人	-13人
合計	26,730人	14	29	26	47	26,694人	-36人
世帯数	8,338世帯					8,338世帯	±0世帯

▼ 先日、北合町小原地区で赤兎山・大長山の開山式が行われました。あいにくの雨でしたが、山の緑はしっかりと濡れ、少し霧がかかった山々の景色は幽玄とても神聖な雰囲気にも包まれていました。小原地区はECOプロジエクトにより古民家修復をはじめ、エコツアー企画など、新たなコミュニケーションの創出を目指しさまざまな取り組みが動き出しています。今後、特集記事などを通じて、市民の皆さんにお知らせしていきたいと考えています。

編集後記

交通事故発生状況

※高齢者=65歳以上

件数内訳	平成21年5月末	前年比
総件数	192件	-18
人身事故(うち高齢者)	25件(7)	-2(+3)
死者(うち高齢者)	1人(1)	+0(±0)
傷者	29人	+2
物損事故	167件	-16

6月の納税

市・県民税▶1期
納 期 間▶6月30日(火)
口座振替▶6月26日(金)

広告

広告のお申し込みは
秘書・広報課まで